

2009年度提出卒業論文題目一覧

映画はリアリスティックな芸術か	出田 数博
シェイクスピア研究	稲山 玲
西川美和監督研究	内山 真太郎
ペドロ・アルモドバル論	大脇 初枝
名執健太郎研究	奥山 雄太
アメリカン・ニューシネマ再構築	越智 結花
政治と映画	踊場 英佑
岡田利規『三月の5日間』研究	片山 幸帆
映画『地獄の黙示録』論	北坂 健
ドキュメンタリー映画の対抗的機能	木村 基志
押井守研究	日下 智紀
ノーマン・マクラレン論	桑田 聡之
チェコ・アニメーションの特異性	小林 崇志
吉本新喜劇の「笑い」	酒井 菜々子
戦後日本映画における〈怪物〉の表象	迫田 翔太郎
メディアアートとコミュニケーション	佐藤 江莉
エヴァ以降の日本のテレビアニメの変容	柴 絹人
『サイコ』と『鳥』	澁谷 秋樹
チェルフィッチュ『三月の5日間』に対する評価	清水 穂奈美
『ザ・シンプソンズ』におけるポップコメディ論	ジョン チョロン
篠山紀信論	白石 良輔
タブー表現の変容	城内 麻里
映画に生きる素人	鈴木 徳至
オードリー・ヘップバーン論	高橋 大典
サイコ・サスペンスの研究	滝本 恵利
ヘイズ・コード導入によるアメリカ映画の変容について	田中 友梨
映画における風景論	谷口 亮
フィルム・ノワールにおける父権社会の抑圧と退廃	千葉 純
宮崎駿作品研究	茶木 嵩文
ティム・バートン論	江 はるな
ある「別れ」の考察	中井 智浩
『SHIROH』から見る日本のミュージカルのこれから	中村 由佳
技術の発展に伴う映画の中の未来の変容	並木 悠子
映画と夢	野村 由芽

2009年度提出卒業論文題目一覧

『高円寺阿波踊り』の意義	原田 浩司
近松世話浄瑠璃の主題と方法	藤ヶ崎 温美
現代の日本における大道芸フェスティバル	藤塚 遼
岡本喜八論	松尾 良樹
ナンセンス演劇の現代(いま)	松澤 孝彦
是枝裕和論	松下 巴美
レーニ・リーフェンシュタールとその作品について	松原 葵
正塚晴彦作品における宝塚性	三木 康子
宮藤官九郎作品における〈リアル〉	三嶽 結
決められない女たち	満間 昂平
1970年代ハリウッドのサスペンス映画とベトナム戦争	宮岡 太郎
近代能『卒塔婆小町』における死と美について	宮坂 知映
エヴァは何故暴走したのか	宮田 薫
ウィリアム・クライン論	村上 陽介
宮藤官九郎のテレビドラマにおける芸能人の本人役での出演	室谷 祐美子
つげ義春『無能の人』研究	森川 将行
音声表現教育研究	矢野 美沙
スティーブン・スピルバーグの映像世界	矢野 道造
演劇映像境界論	横山 翔一
『鷹作・桜の森の満開の下』における鬼と女	渡邊 俊也